

しおさい なぎさ 潮彩の渚だより

国土交通省関東地方整備局
横浜港湾空港技術調査事務所発行
神奈川県横浜市神奈川区橋本町2-1-4
Tel.045-461-3892
発行/2022年12月20日
【復活版 第9号】
<https://www.pa.ktr.mlit.go.jp/yokohamagicho/>

横浜港湾空港技術調査事務所では、潮彩の渚周辺でトンボの飛来調査に取り組んでいます。

この調査は「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」の活動として取り組んでおり、このフォーラムは京浜臨海部の緑地の質向上と生物多様性に貢献することを目的に、企業、市民、行政、専門家がそれぞれの立場で参加するゆるやかなネットワークとなっています。フォーラムの取組は今年度で20周年を迎え、当事務所では2004年から毎年、夏の本調査に参加しています。

どんなトンボが確認されるかというと、

- ・高いところを飛ぶトンボが多いと感じています。
- ・主にシオカラトンボ、ウスバキトンボが確認され、ギンヤンマが確認できる時もあります。
- ・1日(2時間)あたり10頭以下の確認が多いです。

調査地点としては、

- ・目の前に海という利点を活かし海辺を飛ぶトンボの調査を行っています。
- ・干潟、護岸沿いや付近の緑地で調査しています。
- ・毎年継続して調査に取り組むことで、構内緑地の保全意識にもつながっています。
- ・調査の日には、干潮状況により干潟の見学も行っています。

今後の取り組みとしては、

- ・干潟を活用した環境学習活動と連携した調査
- ・構内の人工池でのヤゴの調査

を企画しつつ、海辺の環境保全も継続して参ります。

ご関心ある方は、フォーラムのホームページをご覧ください。

<https://tomboforum.com/>



捕獲したトンボ



●潮彩の渚における環境学習等の活動については、当事務所までお問合せください。

【問い合わせ先】 TEL:045-461-3892

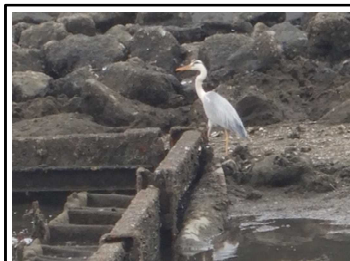
E-mail: info-y83ab@mlit.go.jp

8月～11月に見られた生き物

・8月～11月では、魚類等の様々な生物(トビウオ、エイ類、スナガニ、アサリ、アメフラシ等)が確認されました。

また、鳥類(アオサギ、ウミネコ等)も確認され、多種の生物を育む場として機能しています。

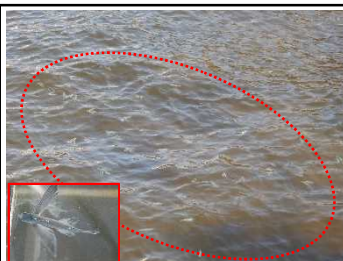
・アサリは8月に5mm前後の稚貝が多く確認されており、成長が期待されます。稚貝が冬季にかけて大きくなっていくことができているかが注目されます。



アオサギ



ウミネコ



トビウオ幼魚の群れ



スナガニ



アカエイ



フレリトゲアメフラシ

今月のいきもの：フレリトゲアメフラシ

【生態】体長は10cm～15cm程度で、水深1m～10m未満程度の浅瀬に棲んでいます。ワカメやアオサなどの海藻を食べて成長します。

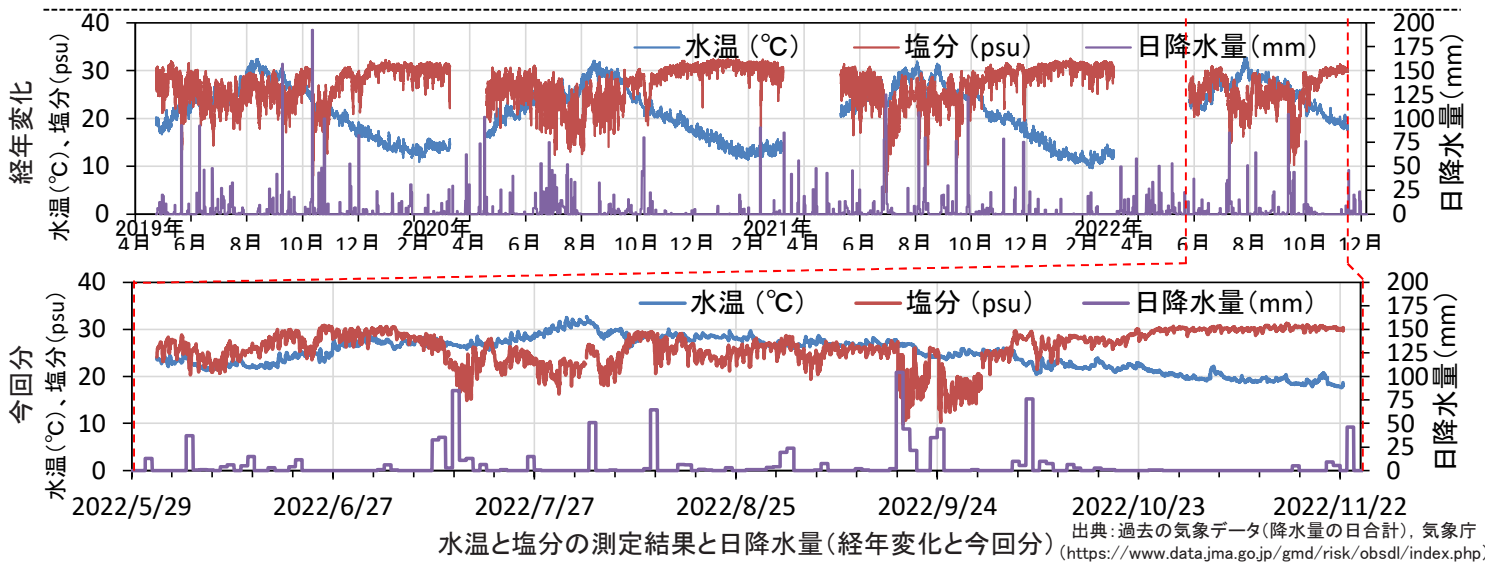
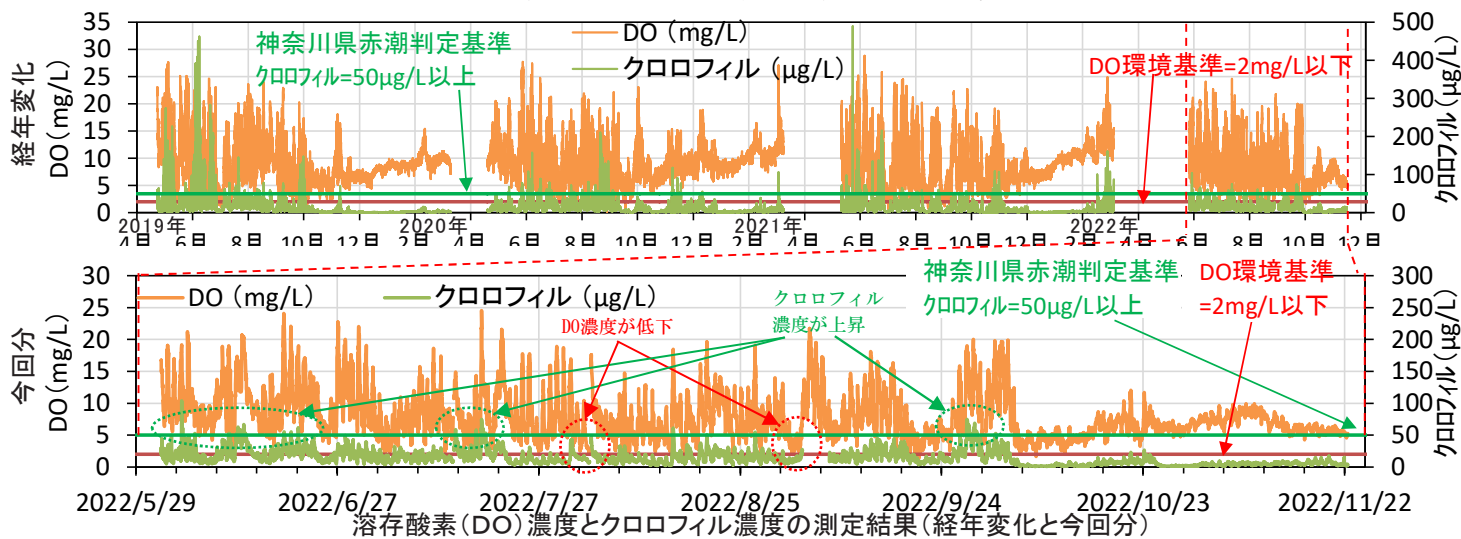
【生息域】国内では、主に本州中部より南側に生息しています。

【特徴】体の色は暗褐色で鮮やかな青い斑点があり、名前にもあるとおり身体全体から樹枝状の突起(トゲ)が生えています。この突起は柔らかく、触れても刺さることはありません。また、天敵が近づくと刺激されると、紫色の液体を出して身を守ります。この紫色の液体を出した様子が雨雲のように見えることが「アメフラシ」の名の由来とされています。

8月から11月に見られた生き物抜粋

「潮彩の渚」水質調査結果(6/3~11/22)

- ・潮彩の渚に水質計を設置して、水質を継続的に測定しています。本号では6月3日から11月22日の結果を示します。
- ・植物プランクトン量を確認できるクロロフィル濃度は、赤潮判定基準の一つになっています。クロロフィル濃度が赤潮の基準値の50 $\mu\text{g/L}$ を超えた日は、昨年と同じ期間では、173日中38日で、最大値は216 $\mu\text{g/L}$ でしたが、今年は173日中19日で、最大値は103 $\mu\text{g/L}$ と昨年より低い傾向でした。
- ・海水中の溶存酸素(DO)濃度が低下すると、魚や貝など様々な生物に悪影響を及ぼします。溶存酸素(DO)濃度が環境基準の2mg/Lを下回った日(貧酸素状態)は、昨年と同じ期間では、173日中17日で、最小値は0.1mg/Lでしたが、今年は173日中4日で、最小値は1.3mg/Lと昨年より高い傾向でした。
- ・なお、これ以前のデータについては、横浜港湾空港技術調査事務所までお問合せください。



コラム: 釣りを活用した生物調査を実施しました

潮彩の渚を活用した環境学習にて、横浜市立幸ヶ谷小4年生の皆さんと釣りを活用した生物調査を9/7、9/26に開催しました。延べ2時間で、マハゼやコトヒキを中心に合計45匹程度の調査結果でした。近隣に住む児童の皆さんは身近に生息する生物に触れる機会にもなったようです。

釣り調査にあたっては(公財)日本釣振興会の皆様にご協力をいただきました。皆さん、ありがとうございました。



写真1 釣りの様子(全景)



写真2 釣りあげた様子



写真3 9月7日の釣果